

令和5年度プログラムリスト (全22番組、88作品)

添付資料3

カッコ内のアルファベットは画郭情報。SDはスタンダード、Vはアメリカン・ビスタ、EVはヨーロッパ・ビスタ、CSはシネマスコープ。

横の記号はサウンド情報。★はモノラル(濃淡型白黒)、☆はモノラル(濃淡型カラー)、*はドルビー(ステレオ)、**はドルビー(SR)、***はドルビーデジタル(SR-D)。

Aプログラム

日本映画を代表する溝口健二監督と近年海外での評価が高まっている清水宏の2作品を紹介。

浪華悲歌(1936年・溝口健二・第一映画・72分・SD★) 出演=山田五十鈴、梅村蓉子、進藤英太郎

西鶴一代女(1952年・溝口健二・新東宝=児井プロ・136分・SD) 出演=田中絹代、三船敏郎、宇野重吉

風の中の子供(1937年・清水宏・松竹・86分・SD) 出演=河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、爆弾小僧

蜂の巣の子供たち(1948年・清水宏・蜂の巣映画部・84分・SD) 出演=島村俊作、夏木雅子、御庄正一

Bプログラム デジタル素材(DCP)あり

人間の善と悪、大胆な構成と躍動感あふれる演出で描き続け、世界中の映画人と観客を魅了した黒澤明監督の傑作を紹介。

生きる(1952年・黒澤明・東宝・143分・SD) 出演=志村喬、小田切みき、田中春男

隠し砦の三悪人(1958年・黒澤明・東宝・138分・CS) 出演=三船敏郎、上原美佐、藤田進

用心棒(1961年・黒澤明・東宝=黒沢プロ・110分・CS) 出演=三船敏郎、仲代達矢、山田五十鈴、司葉子

天国と地獄(1963年・黒澤明・東宝=黒沢プロ・143分・CS) 出演=三船敏郎、仲代達矢、香川京子、山崎努

Cプログラム

男女の心のおやを冷徹な視線で描写した成瀬巳喜男監督と、叙情的な作風で多くの観客を魅了した木下恵介監督の作品を紹介。

めし(1951年・成瀬巳喜男・東宝・97分・SD) 出演=上原謙、原節子、島崎雪子

流れる(1956年・成瀬巳喜男・東宝・116分・SD) 出演=田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子、杉村春子

二十四の瞳(1954年・木下恵介・松竹・155分・SD) 出演=高峰秀子、月丘夢路、田村高広

野菊の如き君なりき(1955年・木下恵介・松竹・92分・SD) 出演=有田紀子、田中晋二、田村高広

Dプログラム

近代日本の光と影を情感ゆたかに描いた今井正と、才気あふれる作風で日本映画の刷新を試み続けた市川崑の代表作を紹介。

にごりえ(1953年・今井正・文学座ほか・130分・SD) 出演=丹阿弥谷津子、久我美子、淡島千景

純愛物語(1957年・今井正・東映・130分・CS) 出演=江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次

東京オリンピック(1965年・市川崑・東京オリンピック映画協会・169分・CS) 記録映画

細雪(1983年・市川崑・東宝・140分・V) 出演=佐久間良子、吉永小百合、古手川祐子、伊丹十三

Eプログラム

壮絶な戦場や一変した日常など、戦時下で危機的状況を生きる人々を克明に描いた作品を紹介。

わが青春に悔なし(1946年・黒澤明・東宝・110分・SD) 出演=原節子、藤田進、大河内伝次郎、杉村春子

暁の脱走(1950年・谷口千吉・新東宝・110分・SD) 出演=池部良、山口淑子、小沢栄

独立愚連隊(1959年・岡本喜八・東宝・108分・CS) 出演=佐藤允、雪村いづみ、中丸忠雄

日本のいちばん長い日(1967年・岡本喜八・東宝・157分・CS) 出演=三船敏郎、笠智衆、松本幸四郎

Fプログラム

1960年前後に登場した、戦後の若き映画監督たちによる革新的な作品群を紹介。

豚と軍艦 (1961年・今村昌平・日活・108分・CS) 出演＝長門裕之、吉村実子、南田洋子

情炎 (1967年・吉田喜重・現代映画社・97分・CS) 出演＝岡田茉莉子、木村功、高橋悦史、しめぎしがこ

少年 (1969年・大島渚・創造社＝ATG・97分・CS) 出演＝渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志

心中天網島 (1969年・篠田正浩・表現社＝ATG・103分・SD) 出演＝中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介

Gプログラム

現在も多方面で活躍し人気を集める俳優たちが、1980年代から1990年代に出演した名作を紹介。

Wの悲劇 (1984年・澤井信一郎・角川春樹事務所・109分・V) 出演＝薬師丸ひろ子、世良公則、三田村邦彦

どついたるねん (1989年・阪本順治・荒戸源次郎事務所・110分・EV) 出演＝赤井英和、相楽晴子、原田芳雄

つぐみ (1990年・市川準・松竹富士ほか・106分・V) 出演＝牧瀬里穂、中嶋朋子、真田広之

ニンゲン合格 (1999年・黒沢清・大映・109分・V***) 出演＝西島秀俊、役所広司、菅田俊

Hプログラム

1990年代以降に登場した自主映画出身の監督たちが軽快に描く、“熱中する人々”への人生讃歌。

Shall we ダンス? (1996年・周防正行・大映＝日本テレビ放送網＝博報堂他・136分・V***) 出演＝役所広司、草刈民代、竹中直人

がんばっていきまっしょい (1998年・磯村一路・フジテレビ＝ポニーキャニオン＝アルタミラピクチャーズ・119分・V***) 出演＝田中麗奈、清水真実、中嶋朋子

キツツキと雨 (2011年・沖田修一・「キツツキと雨」製作委員会・128分・V***) 出演＝役所広司、小栗旬、高良健吾、山崎努

死に花 (2004年・犬童一心・「死に花」製作委員会・120分・V***) 出演＝山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、松原智恵子

Iプログラム

1990年代以降に日本映画の新たな顔として活躍を続ける監督たちが描く、様々な家族のドラマ。

愛を乞うひと (1998年・平山秀幸・東宝＝角川書店＝サンダンス・カンパニー・135分・V***) 出演＝原田美枝子、中井貴一、國村隼、うじきつよし

GO (2001年・行定勲・「GO」製作委員会・123分・V***) 出演＝窪塚洋介、柴咲コウ、大竹しのぶ、山崎努

ゆるる (2006年・西川美和・「ゆるる」製作委員会・119分・V***) 出演＝オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、真木よう子

幻の光 (1995年・是枝裕和・テレビマンユニオン・109分・V) 出演＝江角マキコ、浅野忠信、内藤剛志、木内みどり

Jプログラム

岸恵子、吉永小百合、佐久間良子、岩下志麻——大女優の若き姿を、文芸映画を通して紹介。

雪国 (1957年・豊田四郎・東宝・133分・SD) 出演＝岸恵子、池部良、八千草薫、久保明

伊豆の踊子 (1963年・西河克己・日活・87分・CS) 出演＝吉永小百合、高橋英樹、南田洋子、浪花千栄子

五番町夕霧楼 (1963年・田坂具隆・東映・137分・CS) 出演＝佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代

五瓣の椿 (1964年・野村芳太郎・松竹・163分・CS) 出演＝岩下志麻、田村高広、伊藤雄之助

Kプログラム

森雅之、石原裕次郎、市川雷蔵、高倉健——個性豊かな男優たちの魅力があふれる作品を紹介。

浮雲 (1955年・成瀬巳喜男・東宝・123分・SD) 出演＝森雅之、高峰秀子、岡田茉莉子

嵐を呼ぶ男 (1957年・井上梅次・日活・100分・CS) 出演＝石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、金子信雄

眠狂四郎殺法帖 (1963年・田中徳三・大映・81分・CS☆) 出演＝市川雷蔵、中村玉緒、若山富三郎

網走番外地 (1965年・石井輝男・東映・91分・CS) 出演＝高倉健、丹波哲郎、田中邦衛、嵐寛寿郎

Lプログラム デジタル素材 (DCP) あり

アクションに人間ドラマに観客を惹きつけて止まない時代劇。大スター演じるヒーローの行く末に手に汗握る名作を紹介。

血槍富士 (1955年・内田吐夢・東映・94分・SD) 出演=片岡千恵蔵、月形龍之介、喜多川千鶴
旗本退屈男 (1958年・松田定次・東映・108分・CS) 出演=市川右太衛門、桜町弘子、片岡千恵蔵
反逆児 (1961年・伊藤大輔・東映・110分・CS) 出演=中村錦之助、桜町弘子、月形龍之介
沓掛時次郎 遊俠一匹 (1966年・加藤泰・東映・90分・CS) 出演=中村錦之助、池内淳子、渥美清

Mプログラム

終戦直後の混乱のなかで、古き時代への悔恨と新しい時代に向けた希望を映し出した力作を紹介。

戦争と平和 (1947年・山本薩夫、亀井文夫・東宝・100分・SD) 出演=池部良、岸旗江、伊豆肇
安城家の舞踏会 (1947年・吉村公三郎・松竹・89分・SD★) 出演=原節子、滝沢修、森雅之
青い山脈/続 青い山脈 (1949年・今井正・藤本プロ=東宝・計172分・SD) 出演=原節子、杉葉子、池部良
帰郷 (1950年・大庭秀雄・松竹・104分・SD★) 出演=佐分利信、木暮実千代、津島恵子

Nプログラム

戦後の混乱を乗り越え、復興の時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫婦の姿を描いた作品を紹介。

煙突の見える場所 (1953年・五所平之助・新東宝=スタジオ・エイト・プロ・108分・SD) 出演=田中絹代、上原謙、高峰秀子、芥川比呂志
この広い空のどこかに (1954年・小林正樹・松竹・109分・SD) 出演=佐田啓二、久我美子、高峰秀子
名もなく貧しく美しく (1961年・松山善三・東京映画・129分・CS) 出演=高峰秀子、小林桂樹、島津雅彦
裸の島 (1960年・新藤兼人・近代映画協会・96分・CS) 出演=乙羽信子、殿山泰司、田中伸二

Oプログラム

阪妻、長谷川一夫、勝新、千恵蔵、月形、右太衛門——定番時代劇の醍醐味を存分に楽しめる、時代劇スター出演の有名作を紹介。

大江戸五人男 (1951年・伊藤大輔・松竹・132分・SD) 出演=阪東妻三郎、市川右太衛門、山田五十鈴
銭形平次捕物控 からくり屋敷 (1953年・森一生・大映・86分・SD) 出演=長谷川一夫、アチャコ、三浦光子、入江たか子
不知火検校 (1960年・森一生・大映・91分・CS★) 出演=勝新太郎、中村玉緒、近藤美恵子
赤穂浪士 (1961年・松田定次・東映・151分・CS) 出演=片岡千恵蔵、大川橋蔵、月形龍之介、市川右太衛門

Pプログラム

風俗喜劇に家族喜劇、個性的な監督たちとユーモアあふれる俳優たち——さまざまな笑いを楽しめる一風変わった喜劇を紹介。

本日休診 (1952年・渋谷実・松竹・97分・SD★) 出演=柳永二郎、淡島千景、三国連太郎
貸間あり (1959年・川島雄三・宝塚映画・112分・CS) 出演=フランキー堺、淡島千景、乙羽信子
喜劇 女は男のふるさとヨ (1971年・森崎東・松竹・90分・CS) 出演=森繁久弥、中村メイコ、倍賞美津子
毎日が夏休み (1994年・金子修介・パイオニアLDC=サンダンス・カンパニー・94分・V) 出演=佐野史郎、佐伯日菜子、風吹ジュン

Qプログラム

日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を紹介。

おかしな奴 (1963年・沢島忠・東映・110分・CS) 出演=渥美清、三田佳子、南田洋子
喜劇 急行列車 (1967年・瀬川昌治・東映・90分・CS) 出演=渥美清、佐久間良子、小沢昭一
吹けば飛ぶよな男だが (1968年・山田洋次・松竹・91分・CS) 出演=なべおさみ、緑魔子、犬塚弘
あゝ軍歌 (1970年・前田陽一・松竹・89分・CS) 出演=フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子

Rプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

軽やかなリズムと華やかな色彩にのせて、歌と笑いと夢にあふれた音楽・歌謡映画の決定版を紹介。

エノケンの頑張り戦術 (1939年・中川信夫・東宝・74分・SD) 出演=榎本健一、如月寛多、柳田貞一

大当り三色娘 (1957年・杉江敏男・東宝・94分・CS) 出演=美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ

ニッポン無責任時代 (1962年・古澤憲吾・東宝・86分・CS) 出演=植木等、ハナ肇、谷啓

君も出世ができる (1964年・須川栄三・東宝・100分・CS) 出演=フランキー堺、高島忠夫、雪村いづみ

Sプログラム

純情と犇猛さが入り混じった青春の一瞬を、気鋭の監督たちが鮮やかに捉えた青春映画、恋愛映画の秀作を紹介。

八月の濡れた砂 (1971年・藤田敏八・日活・91分・CS) 出演=村野武範、広瀬昌助、テレサ野田

忍ぶ川 (1972年・熊井啓・俳優座映画放送・120分・SD) 出演=加藤剛、栗原小巻、永田靖、信欽三

伊豆の踊子 (1974年・西河克己・東宝=ホリプロ・82分・CS) 出演=山口百恵、三浦友和、中山仁

櫻の園 (1990年・中原俊・ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=サントリー・96分・V) 出演=中島ひろ子、つみきみほ、白島靖代

Tプログラム

社会派ミステリーや権力者の不正、冤罪問題など、名匠たちが丹精こめて作り上げた力作を紹介。

真昼の暗黒 (1956年・今井正・現代ぷろ・124分・SD) 出演=草薙幸二郎、松山照夫、左幸子

張込み (1958年・野村芳太郎・松竹・116分・CS) 出演=大木実、宮口精二、高峰秀子、田村高広

悪い奴ほどよく眠る (1960年・黒澤明・東宝=黒沢プロ・151分・CS) 出演=三船敏郎、森雅之、香川京子

飢餓海峡 (1965年・内田吐夢・東映・183分・CS) 出演=三国連太郎、左幸子、伴淳三郎

Uプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

時代を超えて読み継がれる児童文学の名作や人気漫画を、豊かな情感と奔放な想像力で映画化した4作品を紹介。

次郎物語 (1987年・森川時久・西友=学習研究社=キネマ東京・110分・V) 出演=加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣

風の又三郎 ガラスのマント (1989年・伊藤俊也・朝日新聞社=東急エージェンシー=日本ヘラルド映画・107分・V*) 出演=早勢美里、小林悠、草刈正雄

少年時代 (1990年・篠田正浩・「少年時代」製作委員会・117分・V) 出演=岩下志麻、細川俊之、藤田哲也

お引越し (1993年・相米慎二・読売テレビ放送・124分・EV) 出演=田畑智子、中井貴一、桜田淳子

Vプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

今や日本文化の顔となったアニメーション映画。日本アニメの歴史を画した劇場用長篇映画の代表作を紹介。

西遊記 (1960年・藪下泰司、手塚治虫、白川大作・東映動画・88分・CS) 声の出演=小宮山清、新道乃里子、木下秀雄

太陽の王子 ホルスの大冒険 (1968年・高畑勲・東映動画・82分・CS) 声の出演=大方斐紗子、平幹二郎、市原悦子

長靴をはいた猫 (1969年・矢吹公郎・東映動画・80分・CS) 声の出演=石川進、藤田淑子、榊原ルミ

銀河鉄道の夜 (1985年・杉井ギサブロー・朝日新聞社=テレビ朝日=日本ヘラルド映画グループ・107分・V*) 声の出演=田中真弓、坂本千夏、常田富士男